

Ⅶ. モデル講習会の実施

策定したガイドライン・指導手順書を相談員に周知し、内容を理解してもらうとともに、ガイドライン・指導手順書の内容に関する現場の意見を聴取し、更なる改善につなげることを目的として、相談員を対象としたモデル講習会を開催した。

1. 講習会開催概要

- (1) 講習会名：ハンドル形電動車椅子の貸与実務における安全利用講習会
- (2) 講習会の目的：
 - －策定したガイドライン・指導手順書を講習会参加の相談員に周知し、内容を貸与実務に反映し事故防止と安全利用につなげる。
 - －ペアワーク（ロールプレイ）を通じて、ガイドライン・指導手順書の内容を実際に体験してもらい、現場での実践に役立てる。
 - －ガイドライン・指導手順書の内容について、現場の意見を聴取し、ブラッシュアップにつなげる。
- (3) 講習会の対象：福祉用具専門相談員
- (4) 日時：令和2年12月11日（金）14:00～16:00（天候：曇り）
- (5) 場所：宮之城自動車学校（住所：鹿児島県薩摩郡さつま町時吉1904）
- (6) 講師：鹿児島県さつま警察署 交通課長 大木 俊郎氏
千葉県立保健医療大学 准教授 藤田 佳男氏
- (7) ペアワーク担当（敬称略）
 - 一般社団法人日本福祉用具供給協会 事務局次長 伊藤広成
 - 一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会 事務局長代理 肥後一也
 - MS&ADインターリスク総研株式会社 伊納正宏 青木雅裕 井上泰
- (8) 講演内容申込み・出欠状況

申込数	12名
キャンセル（※）	2名
当日参加者数	10名

※体調不良によるキャンセル1名、コロナ禍の拡大を理由としたキャンセル1名。

<配布資料>

- ① ハンドル形電動車椅子の貸与実務における安全利用のためのガイドライン
- ② ハンドル形電動車椅子の貸与実務における安全利用のための指導手順書
- ③ ①②に関する巻末資料
- ④ 「電動車いす 安全利用の手引」（電動車いす安全普及協会）
- ⑤ 「電動三輪車四輪車 使い方手引き」（公益社団法人テクノエイド協会）
- ⑥ ペアワークの進行要領について
- ⑦ アンケート

2. 講習会の内容

当日は教室での講義(座学)の後、教習所の運転コースにて、ハンドル形電動車椅子を使用したペアワーク(指導実技)を行った。

座学では、さつま警察署・大木課長から、県内および町内における電動車椅子に関わる交通事故の状況や、安全利用のポイントに関する説明を行った後、千葉県立保健医療大学・藤田准教授よりガイドライン・指導手順書の内容に関する講義を実施した。

ペアワーク(ロールプレイ)では、受講者を2人一組の計5班に分け、班ごとに模擬指導シーンを与え、ガイドライン・指導手順書を活用して、利用者役と指導者役を入れ替えて模擬指導を実施した。

講習会終了後に、ガイドライン・指導手順書の内容に関する評価や、改善点・要望等に関するアンケートを実施した。

<当日のスケジュール>

時間割	次第	テーマ・内容
14:00 ~14:05	開会	開会挨拶
14:05 ~14:15	講義①	ハンドル形電動車椅子の事故状況について 【講師】鹿兒島県さつま警察署 交通課長 大木 俊郎 氏
14:15 ~14:55	講義②	ハンドル形電動車椅子の安全利用に関するガイドライン・指導手順書の解説 【講師】千葉県立保健医療大学 准教授 藤田 佳男 氏
14:55 ~15:10	ペアワーク準備	ペアワーク(ロールプレイ)に関する参加者への説明および準備指示
15:10 ~15:15	休憩	—
15:15 ~15:55	ペアワーク	ハンドル形電動車椅子の貸与実務に関するロールプレイ
15:55 ~16:00	講評・質疑	全体講評、受講者からの感想・質疑応答
16:00~	閉会	閉会挨拶、参加者アンケート記入

<ペアワークの班分け>

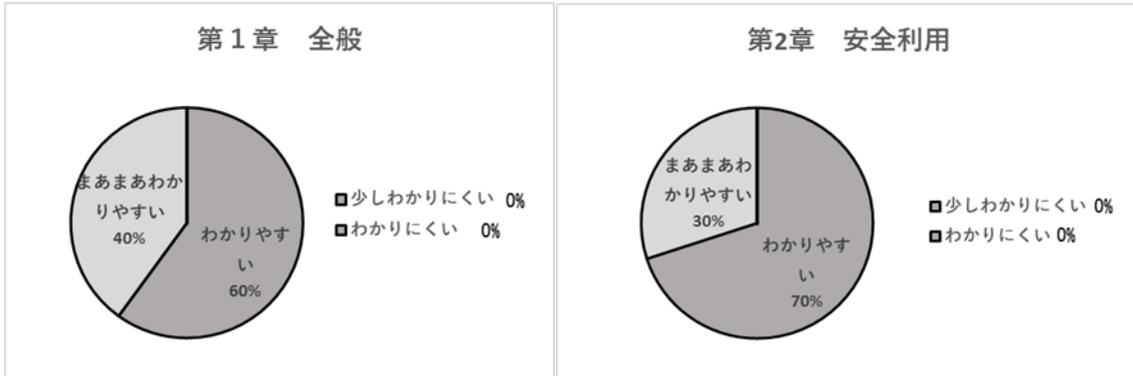
模擬指導シーン		班	担当スタッフ
大項目	小項目		
基本事項の説明	—	1班	伊藤
試乗（その1） 基本的な操作指導	乗降・運転前確認		
	操作指導①静止状態での指導	2班	肥後
	操作指導②走行状態での指導		
試乗（その2） 路上での実践指導	（1）主な禁止事項・注意事項の説明	3班	伊納
	（2）自宅付近での操作指導		
	（3）実使用ルートでの指導	4班	青木
	（4）事故・故障時に備えた指導	5班	井上

3. 参加者アンケートの結果

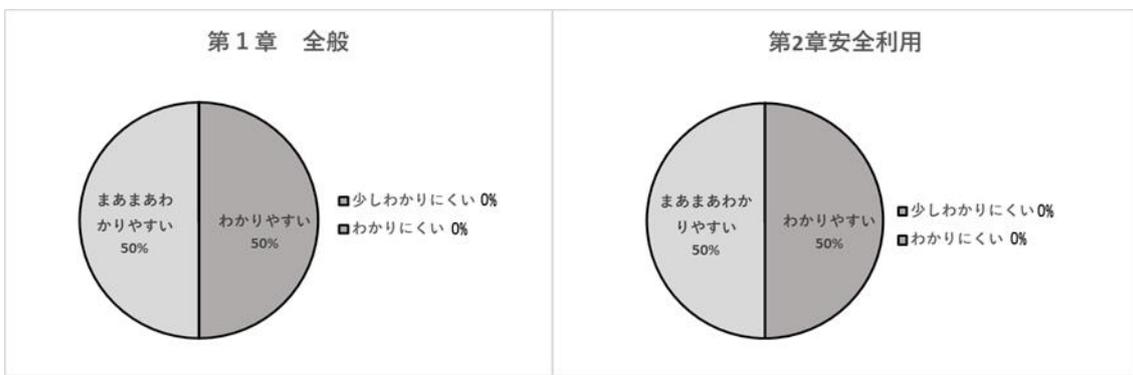
講習会終了後、ガイドライン、指導手順書、巻末資料について、分かりやすさや使いやすさを問うアンケートを行うとともに、「ペアワークの内容」についてスムーズに対応できたかどうかを問うアンケートを実施した。

このうち、ガイドライン、指導手順書、巻末資料の3つの資料類については、全ての回答者から、「わかりやすい・使いやすい」「まあまあわかりやすい・まあまあ使いやすい」との回答が得られた。

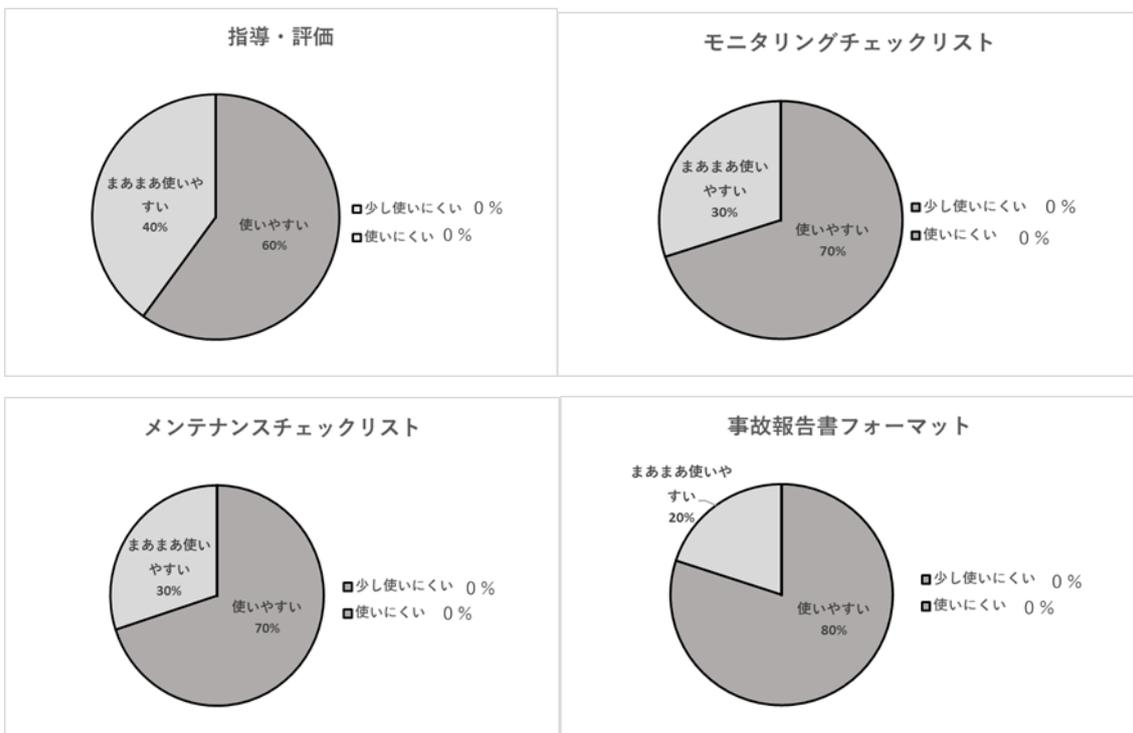
(1) ハンドル形電動車椅子の貸与実務における安全利用のためのガイドライン



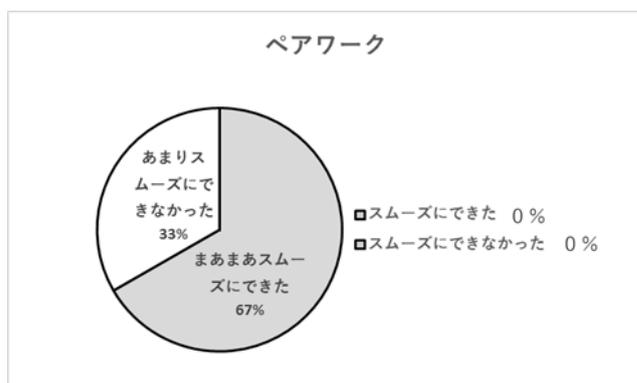
(2) ハンドル形電動車椅子の貸与実務における安全利用のための指導手順書



(3) 巻末資料



一方、ペアワークでは、「まあまあスムーズにできた」が7人であった一方、「あまりスムーズにできなかった」も3人存在した。「あまりスムーズにできなかった」の理由としては、「時間が短くもう少し詳しく説明を聞きたかった」、「高齢者にわかりやすい説明の伝え方を考えながらだったので、スムーズに説明できなかった。」、「ペアワークの流れや設定を予め決めてからだと進行しやすいと思った」など、ペアワークの運営面に関する意見が中心であった。



4. モデル講習会総括

上記のアンケート結果を踏まえると、講習会で使用したガイドライン、指導手順書、巻末資料の3つの資料類については概ね好評価であり、本質的な改善点についてはないと結論付けられた。

一方、ペアワークに関しては、上述の通り運営面で若干の課題が見られた。今回の講習会では、長時間の拘束を避けるため全体の時間を2時間としつつ、より多くのことを参加者に伝え、理解いただくために内容を充実させた。また、参加者が当日消化不良とならないよう、当日の資料を参加者に事前に送付し、事前に目を通してもらうよう依頼するとともに、当日はペアワークの前に進め方や資料の内容の再確認の時間を設けるなどの工夫を行った。しかしながら、一部の参加者については時間が足りないと感じたり、ペアワークの進め方に関する理解が不足したことによるものと考えられる。このため、今後、同様のモデル講習会を開催する際は、講義パートも含めより多くの時間を確保するとともに、ペアワークの進め方に関する説明をより丁寧に行う（そのための時間を十分設ける）ことを検討することとしたい。

なお、前記の通りガイドライン、指導手順書、巻末資料の3つの資料類については高い評価が得られたが、その後の作業部会においてアンケートにおける個々の意見欄で寄せられた意見を精査した上で、下記の意見については、ガイドライン、指導手順書及び巻末資料に反映させることとした。

- ・指導手順書については、ポイントになる部分を赤字等で示すとよい。
- ・高齢者でも理解しやすい言い方（「バッテリー」→「電池」）で説明できるようにしてほしい
- ・事故報告書については、図を記入できるスペースがあれば、他者からももっとわかりやすくなるかと思う

- ・指導項目にひじ掛けを追加し、坂道等で安全ベルトの代わりにすることを入れた方が
良いと思う
- ・利用者の身体・生活状況にもよるが、マニュアル通りの説明ができない事もあるた
め、操作に関するチェックリストについては、「その他気づいた点」など、自由欄を
作れば、事例として後から見返すことができ、説明の質の向上にもつながると思う。
- ・事故・故障時はもちろんのこと、電動カーに乗車運転時に何かに接触した場合など
は、必ず報告する（その場で）という義務があることを理解してもらい説明をした方
が良い（利用者が「たいした傷じゃないからいい」などの判断をしないようにす
る）。

また、当日のペアワークにおいて、各班のサポート担当を行ったスタッフからも意見出
しを行い、必要と思われるものについて、「ガイドライン」、「指導手順書」及び「巻末
資料」に反映させることとした（反映内容の詳細については、後述「＜参考2＞ ペアワ
ーク担当スタッフコメント」参照）

<参考1> 受講者アンケートで寄せられたコメント

※網掛箇所はガイドライン・指導手順書に反映

1. ガイドラインについて

受講者	第1章 全般		第2章 安全利用	
	評価	コメント	評価	コメント
A	2	-	2	-
B	2	資料の内容はわかりやすくなっていて、持って帰って見直してみようと思いました。コロナの流行している時期なので、時間短縮なのでごく説明が早く、そこだけが少しいけませんでした。	2	第1章と同じ理由ですが、またこちらも資料を見て勉強していきたいと思いました。
C	2	-	1	ひじ掛けも項目に入れた方が良いと思われる
D	1	主な事故事例や電動車椅子の特性、リスクが見やすくまとめられていてわかりやすかったです。	1	-
E	1	改善はないですが、日頃から活用しやすいと思う資料です。	1	チェックリストを活用し、貸与中となるのか事故等があった場合からなのかがきになります。
F	2	-	2	-
G	1	ハンドル形電動車椅子を使用する上でのリスク及びそれに伴う事故時事例が見やすく記載されていてわかりやすかった。	1	普段、面接を通して、ハンドル形電動車椅子の使用の可否を自分自身の主観で判断するケースがほとんどであったが、項目別にチェックができるのは非常にありがたいです。
H	1	-	1	項目が多いのでチェックが雑にならないか心配です。まとめられる部分があれば、ひとまとめになると良いと思います。
I	1	-	1	-
J	1	-	1	安全利用のガイドラインが非常にわかりやすかったので、簡易版として普及してほしい

1. わかりやすい 2. まあまあわかりやすい 3. 少しわかりにくい 4. わかりにくい

2. 指導手順書について

受講者	第1章 全般		第2章 安全利用	
	評価	コメント	評価	コメント
A	2	-	2	利用者に必ず理解してほしい各部の名称の説明を入れてほしい
B	2	大事な事はポイントなどで話をしてくれましたので、すごく印象に残ることができました。 少し早くで見逃しがありそうなので復習させてもらいたいと思います。	2	モニタリングのメンテナンスがいかに大事わかりました。 利用者の安全もですが、加害者にならないよう指導できるようがんばりたいです。
C	2	-	1	-
D	1	-	1	-
E	1	早めに作成してもらいたいです。私は日頃の業務ではあまり使うかわからないですが、新人さんにとってはまた新人さんを指導するチューターにとっても役立つと思います。	1	-
F	2	-	1	-
G	1	導入からモニタリングまでの流れがわかりやすく記載されており助かります。	2	それぞれチェックする項目や指導内容がわかりやすかったが、少し項目が多いようにも感じました。
H	1	-	2	-
I	2	ポイント等赤字を使ってもいいかと思っています	2	イラストの使用とかあってもいいと思います
J	1	-	1	-

1. わかりやすい 2. まあまあわかりやすい 3. 少しわかりにくい 4. わかりにくい

3. 巻末資料について

受講者	指導・評価		モニタリング	
	評価	コメント	評価	コメント
A	2	高齢者でも理解しやすい言い方（バッテリー→電池）で説明できるようにしてほしい	2	利用者用と家族用のチェックリストを準備したらよいのでは？
B	1	私自身、電動車椅子に乗る機会がなかったため、どのような説明をして良いかわからなかったのととても助かりました。でも、自分が知らない分、チェックリストにない疑問があったりしたので、なるべく使い方を覚えてスムーズに説明できるようになりたいです。	1	今回、時間の関係であまり目を通すことができなかったです。でも、見おとしのチェックがないか確認できるのは良いと思いました。
C	1	-	1	-
D	1	-	1	細かい項目に分けられていて、点検しなければいけないところがはっきりと分かりました。
E	2	-	1	-
F	2	-	2	-
G	1	説明漏れがなくなることを考えれば、安心して導入が行えます。	1	簡潔にまとめられていて、使いやすいと思います。
H	1	指導・評価に対するチェックは1つ1つ行い易いですが、項目が多すぎると煩雑になってしまうので、最重要項目と重要項目といったような区分けがあっても良いと思います	1	電動カーに関しての同一水準でのモニタリングレベルの維持が期待できると思います。
I	2	-	2	-
J	1	-	1	-

1. 使いやすい 2. まあまあ使いやすい 3. 少し使いにくい 4. 使いにくい

3. 巻末資料について（続き）

受講者	メンテナンス		事故報告書	
	評価	コメント	評価	コメント
A	2	家族用のチェックリストが重要では？	2	-
B	1	チェックリストだけでもたくさんあるなどびっくりしました。また、あらためて見直したいです。	2	なかなかこのようなものにふれる機会がないので、このようなわかりやすい物の様式があるのはいいと思います。
C	1	-	1	図を記入できるスペースがあれば、他者からももっとわかりやすくなるかと思う
D	1	-	1	-
E	1	<ul style="list-style-type: none"> ・車体傷を記入する部分や全体の汚れ度点検項目にあってよい ・車種によっては充電回数や走行記録も確認記録できるので項目があってよい 	1	自社では社内全体に報告できるシステムがあり、みんなで共有しています。
F	2	-	1	-
G	1	項目及びチェックポイントが簡潔にまとめられていて見やすい。	1	-
H	1	モニタリングと同様、メンテナンスについても同一水準のレベル以上が期待できると思います。	1	報告に対しての対応策等返信も必要と思います。
I	2	-	1	書くスペースが少ないので、両面印刷で2ページ使ってもいいと思います。
J	1	-	1	-

1. 使いやすい 2. まあまあ使いやすい 3. 少し使いにくい 4. 使いにくい

4. ペアワークについて

大項目	小項目	受講者	指導・評価はスムーズにできたか	
			評価	コメント
基本事項の説明	-	A	3	チェックリストを見ながら高齢者にわかりやすい説明の伝え方を考えながらだったので、スムーズに説明できなかった。
試乗（その1）	乗降・運転前確認	B	2	初めて使う物だったので、説明を先生に聞くばかりでしたが、とても親切丁寧にご指導くださりありがたかったです。
基本的な操作指導	操作指導① 静止状態での指導	C	2	項目にひじ掛けを追加し、坂道等で安全ベルトの代わりになることを入れた方が良いと思う
	操作指導② 走行状態での指導	D	2	ご利用者様の身体・生活状況にもよりますが、マニュアル通りの説明ができない事もあります。「その他気づいた点」など、自由欄を作れば、事例として後から見返すことができたり、説明の質の向上にもつながるのではないかと思います。
試乗（その2） 路上での実践指導	(1) 主な禁止事項・注意事項の説明	E	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ内容は出来上がっている感じがした ・自分たちが現場で上手に活用したら良いと思う。 ・聞き取りしやすいチェックリストです
	(2) 自宅付近での操作指導	F	3	保管場所の出入口、自宅敷地からでたあとの流れ、保管場所に帰ってきからの停車の仕方などの設定を予め決めてからだと進行しやすいと思いました。
	(3) 実使用ルートでの指導	G	2	チェック項目があり、指導しなければならない事が明確にされていてよかったです。自動車学校ということもあり、広い道での作業でしたので、狭い道や車庫からの出し入れ等の練習もできればさらに良かったかと感じました。
		H	2	実際の業務と行っている通り対話をしながら確認できました。
	(4) 事故・故障時に備えた指導	I	2	実際に事故にあった時もだが、加害者の時の説明も必要と思いました。
J		2	自身の立場で利用者様への説明指導は直接ないですが、改善点として事故・故障時はもちろんですが、電動カーに乗車運転時に何かに接触した場合など、必ず報告する（その場）でという義務があることを理解してもらう説明をした方が良いと思います。あった方がたいした傷じゃないからいいなどの判断をしないようにする。	

1. スムーズにできた 2. まあまあスムーズにできた 3. あまりスムーズにできなかった

4. スムーズにできなかった

5. その他

受講者	コメント
A	-
B	コロナの時期なのにこのような勉強する機会があってよかった。またあれば参加したいです。
C	-
D	<p>電動カーの後ろのカゴを取り付けるのに申請が必要です。</p> <p>警察署の方にはなぜ申請が必要なのか、どの手順で申請を行うのかなど、細かく説明頂ければ、今後申請に手間取る相談員も少なくなるかと思えます。</p>
E	時間が短くもう少し詳しく聞きたいと思いました。特に藤田先生の講習については・・・
F	-
G	非常にわかりやすく、チェックリストがあるのは今後、非常に導入しやすくなるし、新人の方への説明も楽になると感じました。ありがとうございました。
H	ガイドラインを読むことで、改めてご利用者様との対応で不足していた部分があった事に気がきました。正式なチェック表となれば安全の確保はより良くなると思います。
I	<ul style="list-style-type: none"> ・現実的に難しいでしょうが、もう少し時間をかけてやってもいいと思います。 ・チェックリストについては、問題ありの内容を書くスペースがもう少し広くあた方がいいと思いました。
J	相談員として、電動カーを扱う立場として、改めて事故をなくす安全指導への知識・意識が再確認と理解ができて、すばらしい会でありました。

<参考2> ペアワーク担当スタッフコメント

※下線箇所はガイドライン・指導手順書に反映

大項目	小項目	担当	気づき事項
基本事項 の説明	-	伊藤	<p>○基本的な構造には、各 부품の場所や名称を教えるリストが必要になり、テクノ冊子の7ページも範囲に含まれる。</p> <p>○ライトは必要な時だけ点灯で良いのかわからない。</p> <p>○参照冊子ページが掲載されていても、そのページの全てではないし、どこを見たら良いかわからない。</p> <p>○乗降のための座席回転、ひじ掛け跳ね上げの説明が必要。</p> <p>○利用上のリスクについては、禁止事項なのかどうかははっきりしない。</p> <p>○「バッテリー」という言葉よりも「電池」の方が伝わりやすい。</p> <p>○タブレットで紙芝居のように説明できるようになると一番良い。</p>
試乗（その1） 基本的な 操作指導	乗降・運転前 確認	伊藤	<p>○相談員自身が操作してみせる、利用者自身で操作してみる、の両方が必要と感じたので、その点が明確にされると良い。</p> <p>○運転中の速度変更は問題ないのか。</p> <p>○バッテリー残量確認とあるが、目盛りが幾つだと良いのか悪いのか。満タンに限定した方が良いのではないのか。</p>
	操作指導① 静止状態での 指導	肥後	<p>○不足していると思われる項目</p> <p>・クラクション、手押しスイッチ、音声案内機能、バックミラー</p> <p>○操作項目の順番を整理したほうが分かりやすい</p>
	操作指導② 走行状態での 指導	肥後	<p>○不足している（補足が必要）と思われる指導項目</p> <p>指導時のスピード設定、前進の場合の視認性、後進の場合のバックミラー、右折・左折・旋回の場合のウインカーと目視、急停止の場合の握り込み停止機能、段差昇降（停止状態で3cm）</p> <p>⇒この段階ですることが想定しにくい。</p> <p>⇒実際の走行ルート上にある場合に対応する等の補足が必要</p> <p>○ペアワーク時間は適切</p>
試乗（その2） 路上での 実践指導	（1）主な禁 止事項・注意 事項の説明	伊納	<p>○「主な注意事項」の説明内容に手間取っていた⇒具体的な注意内容の追加が必要</p> <p>○ペアワーク時間は過不足なし</p>
	（2）自宅付 近での操作指 導	伊納	<p>○「バッテリー充電」に関する評価項目の追加が必要（バッテリー充電場所の確認、適切に充電できているかどうかの確認）</p> <p>○ペアワーク時間は過不足なし</p>
	（3）実使用 ルートでの指 導	青木	<p>○ウインカーの消し忘れが多いことの案内</p> <p>○必ずチェックするものと必要に応じて説明するものを分けると良い</p> <p>○踏切や急坂は走行しないことを前提となっているが、走行しなければならぬ時の注意事項が不足</p> <p>○自動車学校の広い環境よりも、住宅地などの狭い環境でデモを実施するとイメージがしやすいと思う</p>
		井上	

	<p>(4) 事故・故障時に備えた指導</p>	<p>○使用者本人が事故を起こしても、過小評価しそのまま立ち去ることもある。<u>必ずその場で第三者に報告するように指導した方が良い。</u></p> <p>○ご担当者であったので事故対応の経験がありスムーズにできた。</p> <p>○時間は十分であった</p> <p>○事故時、相手が不明なケースもある。</p> <p>○自損事故の場合、警察は来ても事故の認定がされない場合がある</p> <p>○事故（破損）をしても、動くからそのまま使用するケースもある。早期の情報収集が重要である。</p>
--	-------------------------	--